

令和5年度も様々なご支援ありがとうございました。

本校のホームページをご覧のみなさま、今年度も3月12日(火)卒業証書授与式、3月14日(木)1,2年生修了式をもって、無事に令和5年度の教育活動を終了いたしました。

卒業証書授与式の答辞においては、卒業生13名一人一人が、本校での思い出や新たなる旅立ちに向けての決意を述べるなど、様々な方に自身の成長した姿を見てもらいました。

式後、参加された方からは感動的な式だったというお言葉を頂戴しました。これも卒業生、在校生、そして保護者のみなさま、教職員が互いに手を携え歩んできたからこそと感じております。卒業生のこれから的人生がすばらしいものになるようお祈りしたいと思います。

また、それぞれの学年においての修了式の日には、学年の代表者からこの一年間で学んだことやがんばったことなどの発表がありました。また、休まず登校した生徒に対して「皆勤賞」の表彰を行いました。この皆勤賞の精神については、社会自立をめざす学校として、これからも大切にしていきたいと考えています。

さて、令和5年度、そして3学期を振り返ってみると、やはりあっという間に過ぎ去ってしまったという感じがします。あっという間に過ぎ去ってしまうので、日々の学習が非常に大切になってくるのだと思います。

では、3学期の行事等を少し振り返ってみたいと思います。

今年は、例年ないほどの暖冬の影響で、予定していた除雪ボランティアなどが実施できなかつたなどのことはありました。大きな影響はなく、学習を進めることができました。

3学期は、1月9日(火)よりスタートしました。3年生は、社会に出るための準備期間として、社会人セミナーなどを行ってきました。また、後輩に伝えたいこと、残していくことを「三年生からのメッセージ」として、まとめ、発表する学習を行いました。

2年生は、本校のリーダーとして、引っ張っていく立場になることから、生徒会の役員選挙はじめ、各委員会における引継ぎなどを行い、次年度に向けた足固めを行いました。

1年生も、今年度の振り返りの学習をはじめ、学校のミドルリーダーとしての学習を行いました。

1,2年生は、令和5年度に学習してきたことを、それぞれ進級した学年で、しっかりと積み上げていってもらいたいと思います。

最後になりましたが、本校を卒立っていった卒業生が社会で自分の力を十分に發揮できることを願って、ご挨拶といたします。

そして、保護者の皆様、地域の皆様、関係機関の皆様、本校の教育活動への御理解、御協力に感謝申し上げます。次年度も変わらぬ御協力等をよろしくお願ひいたします。

校訓：自立をめざし

明るく すなおに たくましく

山形県立鶴岡高等養護学校
校長 矢野 裕之